

広報ふたば



【表紙写真】

地域の安寧を祈願して〇〇〇

（浜野はまなす会神楽奉納）



町民の皆さまへ

8月には前線停滞により、九州地方や中国地方で降水量が1000ミリを超えるなど全国各地の広い範囲で記録的な大雨となり、多数の河川の氾濫、土砂崩れや道路の崩壊などの大きな災害が発生しました。また、最高気温が40度近くまで上がる猛暑日があったり、熱中症警戒アラートが発令される日が続いた今年の夏もようやく終わりに近づき、空が高く感じられ、暑さの中にも少しずつ秋の気配が感じられるようになりました。

新型コロナウイルス感染症は、人類が経験した呼吸器疾患のウイルスで最大の感染力と言われるデルタ変異ウイルスが大半を占めるようになり、感染者が急拡大しています。ワクチン接種も追いつかない状況であり、世界的な感染拡大は収束がまだまだ見えない現実です。

そのため9月に開催を予定し、準備を進めてまいりました「集まれ！ふたばっ子2021」や「双葉町敬老会」を町民の皆さまの感染リスクに鑑み、皆さまの健康と安全確保のため中止と判断いたしました。残念ながら昨年続き、今年度も開催できる状況ではありません。来年こそは開催できることを願うとともに、新型コロナウイルス感染症の早い収束を強く願うところです。

そのような状況の中でも1年遅れとなった東京2020オリンピックが7月23日から8月8日まで開催され、8月24

日からは東京オリンピックが開催されております。コロナ禍の中、無観客での例を見ない開催となりましたが、各競技種目で選手の皆さんが活躍する姿を町民の皆さまもテレビの前で観戦し、最後まで諦めずに頑張る選手の姿に感動し、元気をもらったことと思います。

7月14日から8月30日まで開催された東日本大震災・原子力災害伝承館の双葉町特集展は、原則毎日職員2人を派遣し、特集展に会場した皆さんに展示した資料の説明等を行いました。今後も双葉町が経験した世界でも例を見ない複合災害を風化させることなく正しく語り継ぎ、後世に伝え、経験を未来に繋げていく取り組みを行っていきたくと考えております。

今年度は、10月、11月に町政懇談会を県内外11会場で開催しております。新型コロナウイルス感染症対策をしっかりと取りながら行ってまいります。また併せて町民の皆さまの声を広く聴き、町政に反映させるために、ご意見・ご要望を9月30日まで募集しておりますので、町民の皆さまからの忌憚のない声を郵送や町公式ホームページ等でお聴かせください。

夏から秋へと季節が移り変わります。夏の疲れが出る季節です。新型コロナウイルス感染症の予防対策と併せてくれぐれも体調管理にご留意されますようお願いいたします。

双葉町長 伊澤 史朗

温かいご支援をありがとうございます



7月12日、NPO法人3.11ツナグ様（理事長天台宗僧侶泉智仁様）より双葉郡内の小中学校に給食用の吉備団子と桃太郎の絵本を、ふたば幼稚園に義援金をご寄付いただきました。



8月10日、双葉町産業交流センターにおいてプロ野球チーム東北楽天ゴールデンイーグルスを運営する楽天野球団様より双葉・浪江・大熊町の3町へ「がんばろう東北シリーズ」に関連した帽子と野球用ベースを寄贈いただきました。帽子は実際に石井一久監督が着用されたもので、双葉町のロゴと石井監督のサインが入っています。今回贈られた帽子と石井監督が着用した際の写真パネルを双葉町産業交流センター1階ロビーに展示しています。

令和3年度 町政懇談会開催のお知らせ

町民の皆さまにおかれましては、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所の事故から10年5カ月が経過した今も、様々な不安を抱えながら避難生活を送られていることと存じます。

このような中、双葉町は、町の復旧・復興と町民の皆さまの生活再建などの課題に全力を挙げて取り組んでいるところです。

今回、町政全般について、町民の皆さまの率直なご意見やご要望等をお伺いしたく、下記のとおり町政懇談会の開催を予定していますので、ご出席くださいますようお願いいたします。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により変更することがあります。

今回は、新型コロナウイルス感染症対策として、出席者同士の身体的距離を確保し開催します。マスクの着用、手指の消毒、氏名・居所・連絡先電話番号等の受付名簿へのご記入、検温（出発前に自宅にて・会場入り口前）のご協力をお願いいたします。

月 日	時 間	場 所
10月26日(火)	13:30～16:30	いわき市 いわき市労働福祉会館 3階(大会議室1、中会議室1・2) いわき市平字堂ノ前22 ☎0246-24-2511 ※専用駐車場(16台)のほか、童子町駐車場(82台)、梅本駐車場(268台)もご利用いただけます。
11月4日(木)	13:30～16:30	南相馬市 南相馬市民情報交流センター 2階(マルチメディアホール) 南相馬市原町区旭町二丁目7番地の1 ☎0244-23-7796
11月5日(金)	9:30～12:30	仙台市 TKP ガーデンシティ仙台 21階(ホール21A) 仙台市青葉区中央1-3-1 AER 21F/30F ☎022-200-2611 ※会場へは公共交通機関をご利用ください。
11月9日(火)	13:30～16:30	福島市 サンライフ福島 2階(大研修室) 福島市北矢野目字檀ノ腰6番地の16 ☎024-553-5529
11月11日(木)	13:30～16:30	つくば市 つくば国際会議場 2階(中会議室201) 茨城県つくば市竹園2丁目20-3 ☎029-861-0001 ※会場へは公共交通機関をご利用ください。
11月12日(金)	9:30～12:30	加須市 キャッスルきさい 1階(多目的室) 埼玉県加須市根古屋633番地10 ☎0480-73-3101
11月13日(土)	9:00～12:00	東京都 全国町村会館 2階(ホールB) 東京都千代田区永田町1-11-35 ☎03-3581-6767 ※会場へは公共交通機関をご利用ください。
11月17日(水)	13:30～16:30	白河市 サンフレッシュ白河 1階(会議研修室) 白河市久田野城内31 ☎0248-31-1019
11月18日(木)	9:30～12:30	郡山市 福島県農業総合センター 1階(多目的ホール) 郡山市日和田町高倉字下中道116番地 ☎024-958-1700
11月19日(金)	9:30～12:30	新潟県 柏崎市文化会館 アルフォーレ 1階(大・中・小会議室) 新潟県柏崎市日石町4番32号 ☎0257-21-0010
11月27日(土)	① 9:00～12:00 ② 13:30～16:30	いわき市 復興公営住宅勿来酒井団地(集会所) いわき市勿来町酒井青柳8-2 ☎0246-84-5202(秘書広報課)

【問い合わせ先】 秘書広報課 ☎0246-84-5202

町民の皆さまへ 町へのご意見・ご要望をお寄せください

受付期間

令和3年9月30日(木)まで

双葉町では、町民の皆さまの声を町政に生かすため、町に対するご意見・ご要望を受け付けております。

例

- 避難生活のこと
- 家屋の解体・除染
- 避難指示解除について

受付方法は2とおりです

1 双葉町公式ホームページから

トップページの「ご意見・ご要望フォームはこちら」をクリックするか、スマートフォン、またはタブレットでQRコードを読み込み、ご意見・ご要望フォームへお進みください。



2 郵送での送付

任意の様式で、必要事項を記載のうえ、双葉町秘書広報課へ郵送してください。

必要事項

- 氏名
- 行政区名
- ご意見・ご要望の件名
- ご意見・ご要望の内容

〈例〉

〇〇〇について

〇〇が〇〇なので
〇〇してほしい

前沖 太郎(下条)

【問い合わせ先】

秘書広報課 ☎0246-84-5202

【郵送先】

〒974-8212 福島県いわき市東田町二丁目19-4
双葉町いわき事務所 秘書広報課

標葉郷野馬追祭

今年度の国指定無形民俗文化財「相馬野馬追」は、新型コロナウイルス感染防止のため神事のみで開催となり、浪江町内で行われた標葉郷野馬追祭も当初の予定より規模を縮小して開催されました。凱旋式では双葉町を代表して中川巧一さんが騎馬口上を述べ、標葉郷本陣から標葉郷(双葉・浪江・大熊町)の騎馬武者50騎が出陣しました。騎馬行列では浪江町内を悠然と練り歩き、標葉郷の騎馬武者たちが全騎無事に本陣へ凱旋しました。



騎馬口上



凱旋

本年度出場者(敬称略)



騎馬隊 中川 心菜



御先乗 中川 準



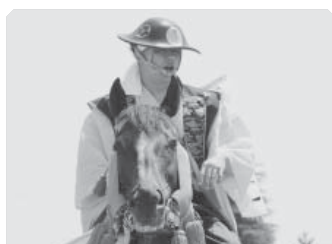
郷大將付軍者 山本 秀次



副執行委員長代理 館下 明夫



騎馬隊 山本 星空



騎馬隊 中川 巧一



軍者 中川 健治



功労者 谷津田 光治

児童館私物取り出し

7月31日、双葉町児童館において、震災当時小学生で児童館を利用していた希望者による私物の取り出しが実施されました。

新型コロナウイルス感染防止対策のため時間をずらして実施され、約10年ぶりに児童館に足を踏み入れた皆さんは家族と思い出話などをしながら、当時使用していた玩具や図書などを手に取り懐かしみました。児童館は今後解体される予定です。



よく乗っていた一輪車を発見



小さな靴入れ、自分のものも残っているかな



成長しました

中野八幡神社で神楽奉納 ～浜野はまなす会～

8月8日、中野八幡神社で竣工祭が行われ、浜野はまなす会の皆さんが拝殿で神楽を奉納し、この日訪れた多くの地域の方々や神社の再建に携わった方々が力強い神楽の舞を観覧しました。この日、兵庫県の淡路島の伊弉諾神宮からいわき市にあるアクアマリンふくしままでの保管を経て寄贈された御神輿も披露されました。竣工祭を終えて高倉伊助浜野行政区長は「沢山の方々の力も借りたが、やはり一番は地域 みんなが頑張ってくれた。今も避難先にて、自分の家のこともいろいろ大変なのに地域の神社の再建に協力してくれて、今日も集まっていた。本当に感謝している」と述べられました。

地区のコミュニティの拠点として再建された中野八幡神社は復興祈念公園内の「ふるさとと人々を結ぶ場」エリアにあり、今後、東日本大震災や原子力災害の影響により再建が困難な他の神社との合祭殿としても活用される予定です。



▲ 寄贈された御神輿



東日本大震災による建物の被害調査と り災証明書の発行について

東日本大震災により被害のあった居住用家屋（以下「住家」という）等について、住家の損壊程度を調査し、り災証明書を発行いたします。

り災証明書を発行するためには、住家を取り壊す前に被害の認定調査が必要です。り災証明書の発行をご希望の方は、お早めに調査の申し込みをお願いします。

① り災証明書が必要な方

- ・被災者生活再建支援制度を利用する方。
（※被災者生活再建支援制度については、次のページをお読みください）
- ・保険請求等で保険会社へ提出される方。
- ・環境省による特定復興再生拠点区域内の住家の解体を希望する方。

② 調査申し込みの対象となる方

- ・住家の所有者（相続人含む）、もしくは居住者等。

③ 調査内容

- ・調査は、「内部及び外観調査」と「外観調査」があります。
- ・内部及び外観調査は、住家の内部調査を行うため、立会いが必要です。
（立会いができない方はご相談ください）
- ・外観調査は、建物の損壊程度を外観からのみ調査します。（立会いは不要です）

④ 調査の申し込みについて

- ・申込書に必要事項を記入し、以下のものを添付して、いわき事務所戸籍税務課に提出、もしくは郵送してください。
 - ①申込者の身分証明書の写し（運転免許証など）
 - ②借家人が申し込む場合は、所有者の同意書等
- ・申込書は、いわき事務所と各支所窓口に備え付けているほか、町公式ホームページからもダウンロードできます。（ご連絡いただければ郵送もいたします）

⑤ 調査日程について

- ・内部及び外観調査は、申込書受付後に日程を調整し、所有者の方などの立会いのもと調査いたします。
- ・アパートや貸家の所有者の方が立会いをされる場合は、必ず入居者の方から立入許可をもらってください。
- ・アパートや貸家の入居者の方が立会いをされる場合は、必ず所有者の方や不動産管理会社から立入許可をもらってください。
- ・令和3年度は12月までの週2回（火・金曜日）、1日5～6世帯で調査を行います。
- ・日程調整後、調査日を連絡いたします。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、感染流行地から立会いを希望される方の調査を、延期させていただく場合があります。調査をお急ぎの場合はご相談ください。

⑥ その他

- ・町が委託した建築士が調査いたします。
- ・調査は、内閣府の被害認定基準に基づき、「全壊、大規模半壊、半壊、半壊に至らない」の区分で被害の程度を判定し、り災証明書を発行いたします。
- ・結果は、調査後概ね2カ月以内を目安に通知いたします。

【申し込み・問い合わせ先】

戸籍税務課 ☎ 0246-84-5204

被災者生活再建支援金の申請を受付しております

1 制度内容

東日本大震災で生じた自然災害により、居住する住宅が全壊するなど生活基盤に著しい被害のあった方へ生活再建のための支援金が支給されます。東日本大震災を対象とした本支援金の支給対象世帯は次のとおりです。

1. 住宅が自然災害により「全壊」または「大規模半壊」した世帯。
2. 住宅が自然災害により「半壊し、やむを得ず解体を行った（半壊解体）」世帯。

2 支援金の支給額

支給額は、次の基礎支援金と加算支援金の合算額となります。

（複数世帯：被災時の世帯人数が2人以上 単数世帯：被災時の世帯人数が1人）

基礎支援金（住宅の被害程度に応じて支給する支援金）

住宅の被害程度		全 壊	半壊解体	大規模半壊
支給金額	複数世帯	100万円	100万円	50万円
	単数世帯	75万円	75万円	37.5万円

※大規模半壊で支援金が支給された世帯も、やむを得ず解体した場合は、半壊解体と同じ扱いになり、差額分を申請することができます。

※半壊解体は、住宅の解体完了後に申請ができます。

※半壊解体及び大規模半壊でやむを得ず解体による差額申請の場合でも、公共事業予定地（中間貯蔵施設、双葉駅西側地区生活拠点、復興シンボル軸（道路拡幅工事）など）については対象外となります。

加算支援金（住宅の再建方法に応じて支給する支援金）

住宅の再建方法		建設・購入	補 修	賃 借
支給金額	複数世帯	200万円	100万円	50万円
	単数世帯	150万円	75万円	37.5万円

※賃借は、公営住宅、仮設住宅、借上げ住宅を除きます。

※住宅を賃借して支援金を受給したのち、住宅を建設・購入（または補修）する場合は、受給済額との差額分を申請することができます。

3 支援金の申請に必要な書類

基礎支援金

- ① 被災者生活再建支援金支給申請書
- ② 住民票原本（世帯全員分、続柄・本籍地が記載されているもの）
- ③ 振込先預金通帳の写し（金融機関名、支店名、口座番号、名義人（フリガナ）記載部分）
- ④ 災証明書原本 ※戸籍税務課の家屋被害認定調査を受ける必要があります。
- ⑤ 解体証明書 ※「半壊解体」または「大規模半壊でやむを得ず解体」により申請する場合に必要です。

※環境省の解体リストで家屋解体の確認後、申請対象となる方には、住民生活課より「解体証明交付申請書」をお送りします。

加算支援金

- ⑥ 住宅建設・購入（または補修）に関する契約書の写し（住宅の所在地、工期（引渡日）、金額、契約日、注文者と受注者（販売者）の署名押印が記載されている箇所）
 - ⑦ その他申請に必要な書類
（例：土地表記と住所表記の異なる場合は、同一であることが証明できる書類を添付）
- ※⑥は加算支援金を申請する場合に添付してください。

4 申請期限

1. 基礎支援金：令和4年4月10日まで

2. 加算支援金：令和4年4月10日まで

【申し込み・問い合わせ先】 住民生活課 生活支援・賠償対策係 ☎ 0246-84-5419

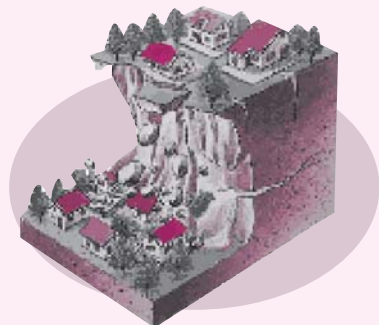
土砂災害危険箇所に係る基礎調査等のため、 立ち入り調査にご協力をお願いします

● 調査の目的及び内容

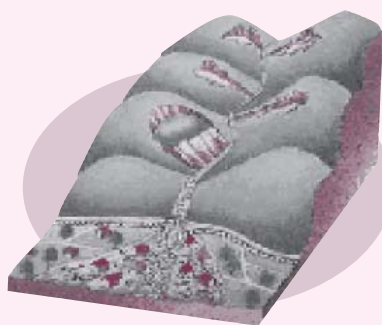
福島県では、「安全なくらしの実現」、とりわけ「災害に強い県土づくり」のために、平成13年度から土砂災害防止対策調査を実施しています。

今回の調査は、「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」（通称、「土砂災害防止法」）を施行するうえで不可欠な、地形図作成のための調査とともに、災害の発生が想定される地区の土地利用状況や地形地質状況の調査を行います。

調査の対象とするのは次のような土砂災害です。



急傾斜地の崩壊による災害



土石流による災害



地滑りによる災害

● 立入期間及び時間

期 間：令和3年9月中旬～令和4年3月下旬 まで

時 間：午前8時～日没前まで

● 立入に際して

現地調査員が調査に入る際は、福島県相双建設事務所発行の身分証明書を携帯します。

● 調査範囲について

大字長塚、前田、目迫、新山、両竹、中田、上羽鳥、下羽鳥地内の急傾斜地の崩壊（崖崩れ）のおそれのある箇所。

【問い合わせ先】

○調査会社

会社名：株式会社福建コンサルタント ☎ 0224（24）1314

○発注者：福島県相双建設事務所

担当者：河川砂防課 佐藤

☎ 0244（26）1260



庭が暮らしに溶け込む家

～暮らしと自然を穏やかにつなぐ～

JR双葉駅西側では新しいまちづくりが進んでいます。

この新しいまちは双葉町の顔となる緑豊かな住宅地を目指しています。

特に周辺の木々を景色に取り入れるよう設計した住宅は、家の中にいても季節の移ろいを感じることができます。

四季折々に変化する豊かな自然は生活する人の心と体を癒し、生活に潤いをもたらします。

そして優しい木陰は夏の暑さや冬の寒さをやわらげ、花をきっかけにご近所との会話が生まれることでしょう。

人と自然が和やかに共存するまちがもうすぐ誕生します。



イメージ図

工事の進捗や最新情報は

検索 で更新しています。
パソコン、タブレット、スマートフォンで
検索してください。

双葉駅西側地区
まちづくりプロジェクト
<https://restart-futaba.com/>



【問い合わせ先】 復興推進課 ☎ 0246-84-5203

農地利用最適化推進委員の紹介

平成27年に「農業委員会等に関する法律」が改正され、農業委員とは別に農地等の利用の最適化を積極的に推進するための現地活動を行う農地利用最適化推進委員が新設されたことに伴い、このたび、7月20日に双葉町いわき事務所において、農業委員会から各委員に委嘱状が交付されました。推進委員の任期は令和6年7月7日までです。



榎内 宏 委員



井戸川 弘幸 委員



高玉 正祐 委員



渡辺 浩美 委員

コーラスふたば 50周年記念コンサートのお知らせ



会場 いわきワシントンホテル
アゼリアA

日時 令和3年10月3日(日)
10:30~12:00
入場無料(事前予約制)



▲QRコード

昨年活動開始から50周年を迎え、記念コンサートを予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により1年延期となりました。

今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を十分に行い、記念コンサートを開催いたします。ご来場希望の方はQRコードから申し込み、または下記までご連絡ください。

なお、新型コロナウイルス感染拡大状況により、開催中止となる場合もございます。あらかじめご了承ください。

※本事業は令和3年度地域経済活性化対策費補助金(被災地12市町村における地域のつながり支援事業)の助成を受けて実施されます。

後援 双葉町教育委員会

【問い合わせ先】 コーラスふたば50周年 担当 ☎080-2531-6695
教育総務課 ☎0246-84-5210

令和3年度双葉町敬老会の開催中止について

ご敬老を迎える皆さまにふるさと双葉町を共有し旧交を温めていただきたく、例年9月に双葉町敬老会を開催してきましたが、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況から今年度の双葉町敬老会は中止することといたしました。大変残念ですが、皆さまの健康と安全確保のため、何卒ご理解賜りますようお願いいたします。

【問い合わせ先】 健康福祉課 ☎0246-84-5205

「集まれ! ふたばっ子2021」中止のお知らせ

広報ふたば7月号及び双葉町公式ホームページでご案内しておりました「集まれ! ふたばっ子2021」の開催につきまして、全国的な新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑み、感染防止の観点から開催を中止することとなりましたのでお知らせいたします。

参加のご検討をいただきました皆さまには大変申し訳ございませんが、ご理解の程よろしくお願いいたします。

「第7回双葉町民作品展覧会(いわき会場)」中止のお知らせ

令和3年10月30日(土)31日(日)いわき市立勿来体育館において開催予定の「第7回双葉町民作品展覧会」につきましては、同日、同会場で開催するいわき市勿来地区文化協会主催の「第50回勿来地区総合文化展」が、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となり、双葉町民作品展覧会につきましても同様に中止とすることになりましたのでお知らせいたします。

【問い合わせ先】 教育委員会 教育総務課 ☎0246-84-5210

～教育長メッセージ～

夢と希望のある「学び」へ

今年の夏も日本列島は記録的な猛暑が続き、毎日のように熱中症関連の報道がありました。加えて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大は危機的状況であり、医療提供体制のひっ迫が叫ばれております。もう一度、感染防止対策について、基本に立ち返って心をつちにして、みんなで感染拡大を抑える行動をとらなければ、このまま数年はコロナ禍から脱却できないのではないかと心配です。児童・生徒の皆さん、そして家族の皆さまも、落ち着いた安心感の持てる、あたり前の生活が担保されず不安な日々をお過ごしのことと思います。しかし、このような状況下におきましても子どもたちの自己実現に向けて支援すべく教育活動の充実に努めてまいりたいと思います。

さて、町立学校では、8月25日（水）より2学期に入り、学校生活のリズムを取り戻しつつ、学習はもちろん今後計画されている学校行事を、感染防止対策を徹底しながらどのように実施できるか検討を重ね準備を進めているところです。各教科の授業の充実と言うまでもなく、貴重な体験活動を通して「心の成長」が育成されるよう支援してまいりたいと思います。

また、各種団体における行事の開催についても、関係役員の皆さま方にはご心配、ご苦勞をお掛けいたしております。婦人学級におきましても、年間計画が実施できない状況も多々あると思いますが、会員同士の連絡は絶やさず次回開催に向けて絆を深めていただきたいと思います。

【復興庁と文科省への要望活動】

去る7月8日（木）、福島県と双葉地区教育長会合同による要望活動を行いました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、今年度の予定を二度、延期調整しての代表による実施となりました。出席者は、復興庁の横山副大臣、そして文科省では三谷政務官。福島県からは本田政策監、高瀬教育総務課長と双葉地区からは秋元会長、小野田副会長、館下（庶務）の5人。限られた時間ではありましたが、第二期復興・創生期間についても双葉地区教育行政・学校教育に向けた支援を堅持しながら復興創生を進めていくという力強いお言葉をいただきました。



◇ 横山復興副大臣への要望書手交 ◇



◇ 文科省への要望書説明と意見交換 ◇

双葉町教育委員会教育長 館下 明夫

ふたば幼稚園 ～運動会～

7月16日、町立学校仮設校舎体育館においてふたば幼稚園の運動会が開催されました。元気よく行進して入場した園児たちは、平均台でバランスをとったり、保護者やお友達と力を合わせてボールゲームなどの競技に力いっぱい臨み、全員金メダルを獲得しました。



ナイスキャッチ



ボールでおぼけ退治に成功！



園長先生に続いて行進で入場

＊ ＊ 双葉郡中高生交流会 ＊ ＊ FUTABA 1 DAY SUMMER SCHOOL

8月4日、双葉郡内の中学校やふたば未来学園高等学校をオンラインで繋ぎ、双葉郡教育復興ビジョン推進協議会主催の双葉郡中高生交流会 FUTABA 1 DAY SUMMER SCHOOLが開催されました。今年は、作家の林真理子さんと小泉進次郎環境大臣を講師に迎え「失敗したっていいじゃない」をテーマに対談形式で授業が進められました。

双葉中学校では休憩時間に、担任の先生のアドバイスをを受けながら講師にどんなことを質問するか話し合いがなされました。双葉中学校3年の渡部勇さんが先陣を切り「座右の銘はありますか」と質問すると、その堂々とした様子を講師の2人から称賛されました。

参加した生徒たちは授業の途中、メモを取りながら、時折笑顔を見せつつ真剣な様子で授業に取り組んでいました。



◆ ◆ 令和4年 双葉町成人式のお知らせ ◆ ◆

- 1. 日 時** 令和4年1月3日（月）
受付 …… 11時30分～
記念撮影 … 12時45分～
式典 …… 13時15分～
- 2. 場 所** いわきワシントンホテル 椿山荘
〒970-8026
福島県いわき市平字一丁目1番地
☎0246-35-3000（代表）
- 3. 対象者** 平成13年4月2日
～平成14年4月1日生まれの方
（平成23年3月11日以降転出者も含む）

4. その他

- 対象の方には、10月中までに案内状を送付いたします。
- 希望をされる方は、いわきワシントンホテルの美容室で和服の着付けも可能です。（詳細は案内状とともにご連絡いたします。）
- 宿泊を希望する新成人には、宿泊費（限度額あり）を補助いたします。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては中止となる可能性があります。

成人式終了後、同級会を開催します。恩師の先生方をご招待する予定です。詳細については案内状とともにご連絡します。

【問い合わせ先】 教育委員会 教育総務課
☎ 0246-84-5210

ふくしま駅伝選手募集のお知らせ

双葉町では下記日程で開催されるふくしま駅伝大会出場に向けて、選手を募集しています。

今年度は、昨年度の縮小した9区間から16区間と従来のコースに戻ります。そのため、町民の皆さんのお力が必要となります。「双葉町として一丸となりたすきをつなごう！ たすきをつないで双葉町民の皆さんに元気を届けたい！」そんな皆さんの力を結集させましょう。

ふくしま駅伝開催日 令和3年11月21日(日)

スタート：しらかわカタルスポーツパーク（白河市総合運動公園）陸上競技場
ゴール：福島県庁前

※新型コロナウイルス感染症の影響により、区間等が変更となる可能性があります。

【問い合わせ先】 教育委員会 教育総務課 ☎0246-84-5210

第15回 市町村対抗福島県軟式野球大会

皆さんの応援よろしく
お願いします！

開会式：新型コロナウイルス感染
防止の為中止

試合日：9月18日(土) 14:30～

第四試合
双葉町 対 鮫川村

会 場：しらすわGP野球場（本宮市）

－ 選手名簿（敬称略） －

1. 加藤 秀樹（監督）	11. 高萩 文孝	21. 石澤 拓也
2. 伊澤 慶昭（主将）	12. 石上 崇	22. 中川 湧斗
3. 里見 淳	13. 木幡 和清	23. 門馬 雄介
4. 平賀 健太	14. 加藤 裕樹	24. 鈴木 景一朗
5. 落合 晃輝	15. 中川 雅斗	25. 山田 琢磨
6. 小林 義弘	16. 板井 克也	26. 橋本 斗輝也
7. 山本 正太	17. 青田 隆志	27. 井戸川 直樹
8. 谷津田 淳之	18. 伊藤 雅明	28. 玉根 俊介
9. 加村 晴也	19. 井戸川 悠太	
10. 志賀村 哲平	20. 渡部 卓朗	

※新型コロナウイルス感染症の影響により、変更となる可能性があります。

30年後の故郷に贈る笑顔

～ 国道6号沿線・双葉厚生病院入り口交差点 ～

7月21日、双葉厚生病院入り口交差点の花壇に、ふたば未来学園高等学校3年の渡辺空さんが企画した桜と生徒たちの笑顔をデザインした看板を、NPO法人ハッピーロードネット（西本由美子理事長）が設置しました。フィールドワークで町内を訪れたという渡辺さんら生徒4人の「双葉郡の未来が活気にあふれるように」との願いが込められています。



毎年9月10日からの1週間は自殺予防週間です

国は自殺対策の指針となる「自殺総合対策大綱」を策定しその中で、毎年9月10日から16日までの1週間を自殺予防週間としています。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、経済的な問題を抱えたり、友人らとの交流の機会が減り、不安や心配事を、自分だけで抱え込んでしまう人が増えています。

どうかひとりで悩みを抱え込まず、身近な友人や家族、専門家へ相談しましょう。

周囲の人達、特に子どもでは新しい学期を迎える子どもたち等の小さな変化に目を向け、声をかけてみましょう。

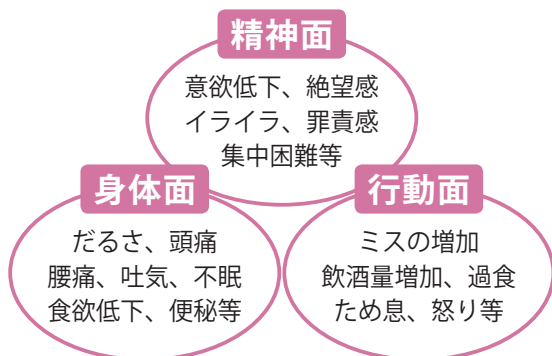
【問い合わせ先】 健康福祉課 健康づくり係 ☎ 0246-84-5205

心身のSOSへの気づきとケア

皆さんは、日々の暮らしの中で、**ささやかでも楽しいと思える瞬間**や**小さな幸せを感じる瞬間**があるでしょうか？例えば、自分で育てた野菜を家族に振る舞う、孫の愛らしい姿に思わずほっこりなどです。このことは、こころの健康を考えるうえで、大切なポイントになります。

私たちは強いストレスにさらされたとき、誰でも「何をやっても楽しめない」「気分が落ち込む」という状態を経験するものです。私たちのからだには、**自然に回復する力が備わっています**ので、多少のストレスや疲れがあっても、十分な休息をとることによってある程度は回復するものです。ただ、休息をとらずに、あるいは何らかの事情で休息をとれずに無理をし続けると、不調が長引いてしまい、うつ病などの病気につながるリスクが高まります。うつ病になると、以前は楽しめていたことが楽しめなくなったり、本気で死にたいと思うほどつらくなったりすることがあります。まずは、**自分自身で早めに心身のSOSに気づくことが大切です**。心身のSOSというのは、いつも精神的な症状として表れるとは限りません。身体面や行動面にも表れてきますので、思いのほか気づきにくいものです。“なんとなくいつもと違うな”と感じたら、**自分で自分を労り、適度にケアすること**を心がけましょう。

● 気づきのポイント



● さまざまなストレス対処法

ストレス対処は次の6つに分類されます。その時の状態によって使い分けるとより効果的です。

- **身体的** …… 運動、半身浴、マッサージ、呼吸法
- **つながり** … 友人とお茶・食事、地域活動参加
- **感情** …… 思いきり笑う、泣く、歌う
- **信念** …… 大事にしている信念を再確認、祈り
- **認知** …… ものごとの捉え方を変えてみる
- **想像** …… 居心地のよい場をイメージするなど

● もし、身近に“ちょっと心配だな”と思う人がいるときは…

ご家族など身近な人の不調に気づき、あなたのこころに余裕があるなら、「最近、疲れているみたいだけど、夜は眠れている？」などと、ひと声かけましょう。それから、温かみのある気持ちで、相手の話をゆっくりと聴くように心がけましょう。**あなたの声かけと聴く姿勢が、つらい思いを抱えている人の支えとなる**はずです。また電話による相談窓口もありますので、一人で抱え込まずにお気軽にご相談ください。

電話による相談窓口

ふくしま心のケアセンター
被災者相談フリーダイヤル
“ふくここライン”

☎ 0120-783-295

(平日 9:00~12:00、
13:00~17:00)

■参考文献 『うつ病・うつ状態について』ふくしま心のケアセンター
■作成 一般社団法人福島県精神保健福祉協会ふくしま心のケアセンター

【問い合わせ先】 健康福祉課 健康づくり係 ☎ 0246-84-5205

ふくしま心のケアセンター



被災者相談ダイヤル「ふくここライン」 フリーダイヤル開設しました！



東日本大震災で被災された方を対象とした心のケアに関する電話相談に
応じている「ふくここライン」はフリーダイヤル化されました。専門
の相談員がお話を伺いますので、お気軽にご相談ください。

☎ 0120-783-295

月～金：午前9時～正午、
午後1時～午後5時

※土日祝、年末年始を除く

9月は食生活改善普及運動・健康増進普及月間です

1に運動 2に食事 しっかり禁煙 最後にクスリ ～健康寿命の延伸～

新型コロナウイルスの影響で家など屋内にいる時間が
長くなりがちです。

決まった時間に起きて朝日を浴びるなどの工夫で生活
リズムを保ちましょう！

バランスのよい食事は健康維持の基本です。

今こそ、お家でできる健康習慣を身につけましょう！

健康習慣の記録に6月にお配りした「健興プロジェクト用紙」をぜひご活用ください。



9月は結核予防週間（9月24日～9月30日）です



令和3年度のポスター

タンのからむ咳・微熱・身体のだるさが2週間以上
続いていませんか？

➡ 長引く咳は赤信号・・・でも！

咳やタン、発熱などの症状が出ないことがあります。

☐ 体重減少 ☐ 食欲がない ☐ 寝汗

このような症状が続く場合、結核かもしれません。

結核は、今でも1日に40人の方がかかっている感染症です。

日頃から体調管理に心がけるとともに、特に高齢の方は健診や医療機関で年に1回は胸のレントゲン
検査を受けましょう。

赤ちゃんにはBCG接種が有効です。生後5カ月から8カ月の間に接種してください。

参考：結核予防協会ホームページ

【問い合わせ先】 健康福祉課 健康づくり係 ☎ 0246-84-5205

*** 地域包括支援センターをご存じですか? ***

地域包括支援センターは、市町村が設置主体となり、社会福祉士・主任介護支援専門員等を配置して、地域の皆さまの健康維持や生活の安定のための相談などに応じる機関です。

地域の病院や介護サービス事業所等の関係機関や町民の皆さまの避難先地域包括支援センターと連携し、生活支援を行っています。



地域包括支援センターの主な業務は総合相談です

地域の高齢者やご家族が安心して暮らすための相談を受けます。介護に関する相談や悩み以外にも、健康や生活に関することなど、どのような相談にも対応します。

「家族が認知症になってしまったのではないかと不安に感じたときや「どこにどのように相談すればよいのかわからない」といった悩みも、まずは地域包括支援センターにお気軽にご相談ください。

【問い合わせ先】 双葉町地域包括支援センター ☎0246-84-6729
(月曜日～金曜日 8:30～17:15)
(いわき市勿来町酒井青柳14-5 双葉町サポートセンターひだまり内)
双葉町いわき事務所 健康福祉課 ☎0246-84-5205

双葉町社会福祉協議会

～ 9月 健康運動教室・サロンのお知らせ ～

こころとからだの健康のため、運動不足を解消しましょう。参加をご希望の方は、事前申し込みが必要となりますので、下記問い合わせ先へご連絡ください。

● 健康運動教室

会 場	開催日	時 間	問い合わせ・申込先
南東北総合卸センター 2階第6会議室 (郡山市喜久田町卸1丁目1-1)	①第1、3水曜日 ②第1、3木曜日 ③第2、5木曜日 のいずれか	13:30～15:00	郡山事務所 ☎024-973-5291
福島市老人福祉センター 2階研修室 (福島市仁井田字八ツ割川原3)	9月21日(火)		
双葉町役場南相馬連絡所 1階会議室 (南相馬市原町区青葉町2-62-2)	毎週水曜日	① 9:30～11:00 ② 13:30～15:00 のどちらか	南相馬出張所 ☎080-5730-1166

● 社協サロン

会 場	開催日	時 間	問い合わせ・申込先
白河市中心老人福祉センター会議室 (白河市北中川原313)	9月28日(火)	10:00～11:30	郡山事務所 ☎024-973-5291

令和3年 秋の全国交通安全運動

運動期間 9月21日(火)から9月30日(木)までの10日間

運動のスローガン 安全は 気配り 目くばり 思いやり

年間のスローガン わたります 止まるやさしさ ありがとう

運動の重点

- ① 子どもと高齢者を始めとする歩行者の安全確保
- ② 夕暮れ時と夜間の事故防止と歩行者等の保護など安全運転意識の向上
- ③ 自転車の安全確保と交通ルール遵守の徹底
- ④ 飲酒運転等の悪質・危険な運転の根絶

主唱：福島県、福島県交通対策協議会

県立テクノアカデミー浜 入学生募集

福島県立テクノアカデミー浜（南相馬市原町区）では、令和4年4月入学生を募集します。

● 募集日程（推薦入学試験）

- ▽ 出願期間：令和3年 9月21日(火)～10月1日(金) 最終日正午必着
- ▽ 試験日：令和3年10月 8日(金)
- ▽ 合格発表：令和3年10月14日(木)

● 学科定員（推薦入学試験では学科定員の7割程度を募集します）

- ▽ 短期大学校：ロボット・環境エネルギーシステム学科（20名）
- ▽ 能力開発校：機械技術科（15名）、自動車整備科（20名）、建築科（15名）

● 試験内容

- ▽ 提出された推薦書及び調査書等に基づく書類選考
- ▽ 面接試験

● 対象者

- ▽ 高等学校卒業の方、および卒業見込みの方※
- ※中等教育学校＝中高一貫校を含む

● その他

推薦の出願要件等、学生募集要項をお読みいただき、ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。見学についてもご相談ください。

【問い合わせ・資料請求先】

福島県立テクノアカデミー浜 〒975-0036 南相馬市原町区萱浜字巢掛場45-112
入学試験担当 橋本まで ☎0244-26-1555

災害対策 ～日頃から備えましょう～

いつ起こるのか、誰にも予測ができないのが災害です。地震や大雨、竜巻などの災害報道も多くなっています。「もしも」が起こる前に、日ごろから備えましょう。

◆ 持ち出し袋の準備 ◆

避難したときに必要なものを、最小限袋に入れ、すぐに持ち出せる場所に置いておきましょう。



- | | | |
|---|------------------------------|--|
| ☐ 懐中電灯 | ☐ 電池 | ☐ 印鑑 |
| ☐ ライター | ☐ 毛布 | ☐ 常備薬 |
| ☐ 携帯ラジオ | ☐ ナイフ | ☐ お薬手帳 |
| ☐ ヘルメット | ☐ 救急箱 | ☐ 保険証 |
| ☐ ろうそく | ☐ タオル | ☐ 現金 |
| ☐ 衣類 | ☐ 軍手 | ☐ 新型コロナウイルス対策用品 |
| ☐ 食料品（水・缶詰・レトルト） | | |

※他にも、小さいお子さんがいる場合には、オムツ、おしりふき、粉ミルク、哺乳瓶など

その他、まとめておきたい大切なものとして・・・

- ☐ 預金通帳 ☐ 免許証 ☐ 年金手帳 ☐ 印鑑 ☐ マイナンバーカード

◆ 避難所や危険個所の確認もしましょう ◆

自分たちの地域は災害時どこが危険か、どこに避難するのが安全かハザードマップで確認しておきます。災害時では、倒壊したブロック塀などが道路をふさいでしまう場合もあります。また、川の氾濫や土砂崩れなど思いがけない危険もあるため、事前にハザードマップを確認し、避難ルートを把握しておくことが大切です。また、早め早めの避難行動を意識しましょう！

◆ 地域でのコミュニティを大切に ◆

災害時に一番必要なのは、地域での助け合いです。避難先自治体などのサポートや救援物資の配給には時間がかかることもあるため、お住まいの地域による協力が必要です。日頃から地域の付き合いを通じて、つながりを強めていきましょう。



● 家庭用備蓄を準備しましょう

備蓄食品は、災害時に使用する「非常食」と、日常から使用しながら非常時にも使える「ローリングストック」の2つがあります。バランスよく備えることで、家庭でも一定量の食品を備蓄することができます。

備蓄の目安・・・家族の人数×最低3日分 ※できれば1週間分備えましょう。

** ポイント **

災害時は・・・炭水化物ばかりに偏りがち ➡ たんぱく質をとるために缶詰を備蓄



●便秘や口内炎などが起こりやすい ➡ ビタミン、ミネラル、食物繊維をとるために野菜を常備する



消防署からのお知らせ

9月1日は防災の日です！



防災の日は、関東大震災が発生した日にちなんで制定された、「防災に対する認識を今一度改める節目となる日」です。

防災バックを準備している世帯は48.8%です。毎年、全国各地でしかも広範囲で甚大な災害が発生しています。

自分のため、家族のために「**防災バック**」を準備して、災害に備えましょう！

- | | |
|---|--|
| ☐ 水（1人1日3リットルが目安） | ☐ 貴重品（預金通帳、印鑑、現金、保険証） |
| ☐ 食料品 | ☐ ライター・マッチ |
| ☐ 雨具・防寒具 | ☐ 簡易トイレ |
| ☐ 毛布 | ☐ 乾電池 |
| ☐ マスク | ☐ 懐中電灯 |
| ☐ 軍手 | ☐ 地図 |
| ☐ ビニール袋 | ☐ 衣服 |
| ☐ 救急セット（常備薬、絆創膏など） | ☐ 携帯ラジオ |
| ☐ ティッシュペーパー | ☐ 歯ブラシ・歯磨き粉 |
| ☐ トイレットペーパー | ☐ 生理用品 |
| ☐ 除菌ウェットティッシュ | ☐ 粉ミルク・離乳食 |
| ☐ 使い捨てカイロ | ☐ おむつ・お尻ふき |

※ 8月30日（月）～ 9月5日（日）は防災週間です。
この機会に、防災について今一度考えてみましょう。

令和3年度 全国統一防火標語
【**おうち時間 家族で点検 火の始末**】



**火事と救急は
119番**

< 消防署連絡先 >

- ・ 浪江消防署 ☎0240-34-4111
- ・ 富岡消防署 ☎0240-22-2119



環境省 福島地方環境事務所からのお知らせ

除染・解体工事について

●建物解体申請の締め切りについて

双葉町の特定復興再生拠点区域の建物解体の申請受付を以下の期間まで受け付けています。申請受付から解体着工まで時間を要するため、解体を希望する場合は、解体申請の受付窓口にお早めにご相談ください。

【解体申請受付期間】

特定復興再生拠点区域の避難指示が解除される日から概ね1年後となります。双葉町では令和4年春ごろの避難指示解除を目標としていることから、「令和5年春ごろ」までを想定しています。具体的な申請受付の締切日は、今後特定復興再生拠点区域の避難指示が解除される日が決定されてから改めてお知らせします。

【解体申請受付窓口】 高島テクノロジーセンター（環境省業務受託業者）

＜場 所＞ 双葉町いわき事務所1階（いわき市東田町2-19-4）
 ＜受付時間＞ 月曜日～金曜日 8:30～17:15（祝日及び12月29日～1月3日を除く）
 ＜連絡先＞ ☎0120-773-275（フリーダイヤル）

片付けごみについて

●片付けごみの個別回収について

双葉町の特定復興再生拠点区域内における家屋について、家屋の片付けによって生じた片付けごみの回収を行っております。

【片付けごみ回収申込先】 双葉町片付けごみサポートセンター

＜受付時間＞ 月曜日～金曜日 8:30～17:00（祝日及び12月29日～1月3日を除く）
 （※FAXによる受付は24時間行っております。）
 ＜連絡先＞ 有限会社佐洋運輸（令和3年度環境省業務受託業者）
 ☎0120-115-261（フリーダイヤル） FAX:0120-115-271

環境省 福島地方環境事務所からのお知らせ ～中間貯蔵施設について～

◇中間貯蔵施設見学会について

- ▶ 中間貯蔵工事情報センターでは、工事の進捗を紹介するため、中間貯蔵施設をバスで巡る見学会を開催しています。9月は、10日（金）、25日（土）を予定しています。
- 見学のお申し込み・お問い合わせは、中間貯蔵工事情報センター（☎0240-25-8377）までお願いします。（URL）http://www.jesconet.co.jp/interim_infocenter/index.html



◇輸送について

- 双葉町内中間貯蔵施設の受入・分別施設等への輸送の状況は下記のとおりです。
- ・2021年度は、320,080 m³搬入しています。（2015年からの累計は3,298,562 m³）※8月5日現在
- ▶ 9月19日（日）～9月23日（木）は輸送を休止いたします。

◇放射線モニタリングについて

- ▶ 空間線量率の測定により、除染土壌等の搬入による周辺への影響は見られないことが確認されています。今後もしっかりと安全対策及び放射線の監視を行ってまいります。
- ▶ 中間貯蔵施設及び周辺モニタリングの結果については、以下のJESCO（中間貯蔵・環境安全事業株式会社）のHPで公表しております。（URL）<http://www.jesconet.co.jp/interim/operation/monitoring.html>



【問い合わせ先】福島地方環境事務所 中間貯蔵部 中間貯蔵総括課 ☎024-563-1293

「常磐線スマホスタンプラリー」を開催中です!

昨年秋冬に引き続き、今年度もスマホスタンプラリーを実施中です。

福島県内の常磐線全駅(28駅)のほか、浜通りの観光拠点施設等(12カ所)にQRパネルを設置しています。

浜通り地方の現在の復興の様子をこの機会に是非ご覧ください。

実施期間 令和3年 8月 1日(日) から
令和3年 10月 31日(日) まで

参加方法 JR常磐線各駅(改札外)及び各観光拠点施設等に設置されているQRコードをスマートフォンで読み取り、デジタルスタンプを取得します。
スタンプ取得数に応じて、抽選で賞品をプレゼントいたします。

● ラリーについての詳細は、スタンプラリー特設ページ(相双ビューローホームページ内)をご確認ください。
※ トップページ内バナーからお進みください。

ホームページアドレス <https://sosobureau.yumesoso.jp>



※画像はイメージです。

【問い合わせ先】 相双地方復興ツーリズム推進委員会(福島県相双地方振興局企画商工部内)
☎0244-26-1142

※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

福島地方法務局富岡出張所からのお知らせ 電話による登記手続案内の事前予約について

福島地方法務局富岡出張所では、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、登記手続案内について、当分の間、電話による対応としています。

また、登記手続案内は完全予約制ですので、利用を希望されるお客様は事前に予約をお願いします。

予約電話番号 福島地方法務局富岡出張所 ☎0240-22-3052

※会社・法人に関する手続案内は、福島地方法務局(☎024-534-1904)でのみ行っています。

● 登記手続案内とは

申請書の書き方、必要な書類等についての一般的な説明を行うことで、事前の審査や法的判断の助言は行いません。

● 予約受付時間 平日の午前8時30分から午後5時15分まで



厚生労働省福島労働局委託事業「福島雇用促進支援事業」

福島広域雇用促進支援協議会からのお知らせ



就職相談会 富岡会場

あなたの「働きたい」をサポートします！

「応募までの一歩が踏み出せない」「自分の強みやアピールポイントがわからない」「早く就職するために計画的に進めたい」「たくさん応募しているのに採用されない」こんな困りごとはありませんか？就職活動の進め方について、相談員がさまざまなアドバイスを行います。

- 日 程 … 10月14日(木) 10:00～12:40 お一人30分程度
- 会 場 … 富岡町文化交流センター 2階 第1研修室(双葉郡富岡町本岡王塚622-1)
- 定 員 … 5名(要予約)
- 締 切 … 10月12日(火)



ドローン講習 富岡会場

ドローンの知識を学び活かす！

物流・測量・空撮など、ドローンに対する関心は高く、導入する企業が増えています。安全運航のルールや操縦の基礎を学び、就職のため新たな技術を身に付けませんか。

- 日 時 … 【企業申込型】10月5日(火) 9:15～17:15 (9:00～9:15受付) ※9月21日(火) 締切
【個人申込型】10月6日(水) 9:15～17:15 (9:00～9:15受付) ※9月28日(火) 締切
- 会 場 … 富岡さくら文化・スポーツ振興公社(双葉郡富岡町小浜481)
- 定 員 … 各20名(企業申込型は1社2名まで)
- 内 容 … 座学、実技、小テスト
- 講 師 … FUKUSHIMA DRONE SCHOOL

※受講料・テキスト代無料

※申込締切後、当該事業の趣旨に基づき厳正に選考し、選考結果は電話にてご連絡します。

共通事項

※新型コロナウイルス感染防止策を講じ開催します。

【問い合わせ先】

ホームページ で検索

福島広域雇用促進支援協議会 福島統括窓口(福島市中町4番20号 みんゆうビル202号)



人のうごき7月分 敬称略

お誕生おめでとうございます

氏 名	生年月日	保護者	行政区
すぎもと ゆきと 杉本 幸斗	7月4日	量・美咲	下 条
しがのらの あ 志賀村乃蒼	7月10日	哲平・綾乃	新 山
なりた 成田さくら	7月19日	昂平・麻未	新 山

お悔み申し上げます

氏 名	年 齢	死亡日	行政区
岡戸 正雄	103	7月6日	新 山
北澤 鉄夫	86	7月13日	鴻 草
佐藤十三男	90	7月15日	長塚一
井戸川 洋	91	7月16日	長塚一
奥野トシイ	86	7月18日	三 字

連絡のついた方で、了承の得られた方のみ出生、死亡の方の名前を掲載しています。
なお、掲載を希望しない場合は秘書広報課までご連絡ください。

秘書広報課 ☎ 0246-84-5202

双葉町民の避難状況 (令和3年7月31日現在)

※平成23年3月11日時点の住民基本台帳人口から死亡者を引き、出生者と転入者を加えた人口を示しています。

・福島県内に避難されている方 4,006人

・福島県外に避難されている方 2,766人

寅 (トラ) 年生まれの皆さん、広報ふたばに新年の抱負を掲載しませんか

- 掲載号：令和4年1月号
 - 文字数：300字程度
 - 原稿締切：11月30日(火)
- ※顔写真が1枚必要となります。

寄稿して下さる方には、原稿用紙をお送りします。

詳しくは下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

秘書広報課 ☎ 0246-84-5202

✉ hisyo-koho@town.futaba.fukushima.jp

ハロウィンジャンボ5億円

(1等3億円・前後賞各1億円合わせて)

ハロウィンジャンボミニ5千万円

(1等3千万円・前後賞各1千万円合わせて)

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。



各1枚 300円
9月22日(水) 2種類同時発売!

発売期間 9/22(水)~10/22(金)

公益財団法人福島県市町村振興協会

避難先を移動された方へ

避難先を移動された方は「避難住民届」を提出してください。

※移動先の届出がないと、町からの広報紙、各種通知などの郵便物が届かなくなりますのでご注意ください。

【問い合わせ先】

戸籍税務課 ☎ 0246-84-5204

双葉の風だより

全国に避難されている皆さんから寄せられたお便りの一部をご紹介します



【文芸】

俳句・出穂揃い 一ツ目小僧 田の監視

・秋空の 空気がうまい 赤とんぼ

川柳・いくつもの 山谷越えて 早卒寿

・先頭を 信じて続く 蟻の列

里謡・原発 コロナ どちらが怖い
どちらも怖い 影見え

今泉 禮子(長塚二)

【震災十年 おりおりの歌】

○陽があたりパツと開きぬ星形の イースターカクタス窓辺に並ぶ
○ふりふりと花びら重ねて咲きにけり 種より育てし金魚草の花
○コロナ禍に息をひそめて暮らしていっ わが生れ月もいつしか過ぎて
○うす紫の都忘れはあなたのよう 部屋に飾りて懐かしみおり
○七十は若きかすでに年寄りか 自問をしつつ老いと向き合う
○夏が来れば煮付けし鰹のあら料理 うからと食みにき浜風恋し
○青松虫の甲高き声マンシヨンの わがりビングに降りそそぐなり
○霜に打たれ萎えしピオラも日が射せば 風にふるふる花びら揺らす



○凜と咲く寒水仙を求めきて
追われしふるさとを偲びておりぬ
○母からの秋野菜の荷の届きたり
開ければ蝗の真っ先に出づ

鈴木 育子(長塚二)

広報紙の発送について

「広報ふたば」「ふたばのわ」は、1居所につき1部送付しています。ご家族が別々の場所に引っ越された場合や、同居することになった場合など、広報紙の発送に関することは下記までご連絡ください。

なお、「広報ふたば」「ふたばのわ」の発送先となっている方がお亡くなりになられた場合については、1カ月程度後に発送を中止いたしますが、ご家族の方に発送先を変更することも可能です。下記までご連絡ください。

【問い合わせ先】 秘書広報課 ☎ 0246-84-5202

記録として次の世代へ
ふるさと

絆通信

第100号



ずっと、ふるさと。双葉町。



双葉町を忘れない

平成23年3月11日に発生した東日本大震災、そして東京電力福島第一原子力発電所の事故により、私たち双葉町民はふるさと双葉町を離れ、今もなお全国に分かれて避難生活を送っています。

先のない不安な生活の中で、町民の皆さんが毎日をどのような思いで過ごし、ふるさと双葉町への思いを抱き続けているのかを、皆さんの声をお聴きしながら「ふるさと絆通信」として連載しています。

そして「ふるさと絆通信」を通して、皆さんの双葉町への思いと心の絆がより一層深まることを期待いたします。



「ふるさと絆通信」で

あなたの想いを伝えてみませんか。

ふるさと絆通信では、避難されている皆さんへ想いを伝えていただける方を募集しています。

避難生活での活動や日々の生活の中で感じていること、ふるさと双葉町への想いをこのコーナーでお話ください。双葉町民の方ならどんなでも結構ですので、ご連絡をお待ちしています。

株式会社鹿島印刷所（南相馬市）の記者が町民の皆さんの避難先を訪問し、インタビュー取材をさせていただきます。

掲載する文章は、その内容をもとに記者が作成しますので、インタビューをお受けいただいた方が文章を作成する必要はありません。

【問い合わせ先】 秘書広報課

☎ 0246-84-5202



しが とくこ
志賀 徳子 さん

(下長塚)



●避難先●
福島県浪江町

「故郷の豊かさ」が懐かしい

還暦を過ぎてから数年で避難となり、故郷を離れたまま古希を越してしまいました。

震災以降、世間では、物質的・経済的な勝利を手にした人が「勝ち組」ともてはやされる風潮が強くなったように感じられます。この春であの日から10年となりましたが、私たちのように、生まれ育った土地を追われた者にとって、故郷の海や大地の恵みや、お互いに勝手知ったる者同士だからこそ生まれる絆こそが、心から実感できる本当の豊かさなのではと思っています。

「2つの震災」で同じ思いをした

自宅で大地震に遭い、何も分からないまま向かった川俣町の避難所で、神戸市に住む次女と連絡がとれ、約1週間後、町の皆さんと別れ、次女一家の住む神戸市に向かいしました。次女たちと再会し無事を喜び合いましたが、東日本大震災発生直後、次女はテレビを通して大津波や原発事故の様子を目にして、私の安否について覚悟したそうです。それを聞いて大げさなことに感じましたが、阪神淡路大震災当時、その前日に転勤で神戸市へ移り住んだばかりの次女について、同じような心配をしたことを思い出しました。

神戸で約2年間生活する中、支援団体からの支援や、両震災被災者同士の交流や被災体験を話す機会に参加することなどを通

じて、先の見えないことへの不安はあるものの、少しずつ前向きな気持ちになり、故郷の近くに帰ることを決めました。

相双地域への帰還

母と弟一家が避難した南相馬市に移り、浪江町の一部区域で避難指示解除後、同町で生活しながら、道の駅なみえで調理関係の仕事に携わっています。

勤務先では、操業を再開した請戸漁港で水揚げされた地魚を使った料理を出しており、地元魚介類を扱うときは、長年親しんだ故郷の恵みが復活したことへの喜びを感じています。

震災と故郷の記憶を次の世代へ

こちらでは、仕事や町の婦人学級に参加して町民同士の交流をする傍ら、昨年9月にオープンした東日本大震災・原子力災害伝承館で、来場者に被災体験を伝える「語り部」として活動しています。

活動を始めて間もなく1年を迎えます。私の話を傾聴いただいた川俣町からの来場者に、そのご家族が、被災直後、同町に身を寄せた私たち双葉町民の支援活動にあたったという方にお会いしました。

震災から十年が過ぎ記憶の風化が叫ばれる中、こうした巡り合わせや、人の縁もあるのだと感慨深い気持ちになりました。

今月のベストスマイル



「双葉町特集展」が行われた東日本大震災・原子力災害伝承館で、左から伊藤布仁香さん（新山）、天野紗季さん（下条）、加藤佑規さん（山田）の笑顔です。

いね



編集後記

今月の表紙は、8月8日に執り行われた中野八幡神社竣工祭での場面です。浜野はまなす会の皆さんが地区に伝わる伝統の神楽を奉納され、竣工祭終了後に浜野行政区の皆さんや関係者の方々による記念写真撮影させていただきました。この日は台風の接近などによりあいにくの雨模様で、予定されていた御神輿の出発は中止となりましたが、竣工祭の終盤では晴れ間が覗き、集まった皆さんは八幡神社を囲んで交流を図っていました。

5頁に掲載した双葉町児童館の私物の取り出しは、新型コロナウイルス感染症防止対策を取りながら実施されました。震災当時は小学校低学年の児童だった皆さんが、毎年「集まれ！ふたばっ子」で交流を継続していて、いつも顔を合わせている友だちと同様に接している姿が印象的でした。

今回のふるさと絆通信は第100号です。これまで取材に応じてくださった皆さんのおかげで掲載を続けることができました。ありがとうございました。今後もご協力をお願いいたします。

連絡先

○いわき事務所
〒974-8212
福島県いわき市東田町二丁目19-4

☎ 0246-84-5200
FAX 0246-84-5212
✉ futaba@town.futaba.fukushima.jp

○郡山支所
〒963-8024
福島県郡山市朝日一丁目20番2号

☎ 024-973-8090
FAX 024-933-5120
✉ fukushima@town.futaba.fukushima.jp

○埼玉支所
〒347-0105
埼玉県加須市騎西36番地1 加須市騎西総合支所2階

☎ 0480-53-7780
FAX 0480-53-7266
✉ saitama@town.futaba.fukushima.jp

○コミュニティセンター連絡所（午前9時～午後4時）
〒979-1471
福島県双葉郡双葉町大字長塚字町西39-22

☎ 0240-23-0051
FAX 0240-23-0052

○南相馬連絡所（午前8時30分～正午、午後1時～午後5時15分）
〒975-0039
福島県南相馬市原町区青葉町2-62-2

☎ 0244-32-1275
FAX 0244-32-1277

○つくば連絡所（月・火・水 午前9時～午後5時）
〒305-0044
茨城県つくば市並木3丁目1 551棟

☎/FAX 029-854-7511

○双葉町公式ホームページ
<https://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/>

○双葉町産業交流センター
公式ホームページ
<https://www.f-bicc.jp/>



○双葉町公式YouTubeチャンネル
<https://www.youtube.com/user/futabakoho>

○双葉町公式ブログ「ブログふたばのわ」
<https://futabanowa.wordpress.com/>